

当院における栄養室の取り組み

紀南病院 *栄養課 **NST

- ・ 沢田浩一 瀬古明美 **須崎 真 中島和孝 宮向井ちとせ 廣畑 静
仲 千代栄 阪口智美 中山 整 正寄直樹 津呂橋 優

当院栄養課では管理栄養士2名が栄養・給食業務に携わっているが、今回はNST活動や最近栄養室が関与した取り組みにつき紹介する

NST活動、栄養指導について： 当院では毎週月曜日のNST活動に、栄養課からも毎回1名が参加しており、栄養評価および栄養不良の患者のチェック、指導を行っている。当院では全入院患者に栄養管理計画書を作成し、栄養不良ありと判断された患者に対しては主治医への注意喚起を行う。中等度以上の栄養不良患者の場合は継続してNSTで経過観察を行っており、管理栄養士は経腸栄養剤や食事内容の選択に関与している。また内科・外科の回診に出来る限り同行し、ベッドサイドでの簡単な栄養指導も行い、入院患者や医師、看護師から高い評価を得ている。

経腸栄養ボトルの取り扱いについて： 当院では本年7月の施設監査において経腸栄養ボトルは再使用しないように指導されたことから、新品のものと当院で洗浄滅菌をおこなったボトルの細菌培養検査を企画した。使用前と投与後3時間の検体を3症例で比較し、再使用のボトルでも問題になるような多量の菌検出は認められなかったことから滅菌再使用でも可能と思われたが、NST委員会で検討した結果、監査指導を重視してパックタイプの栄養剤を使用することに決定した。

食材価格の高騰への対処： 最近の食材価格の高騰で病院経営上も問題となってきた。栄養課としては、この対策として入院患者の残食の減少、食材の整理や調整による購入量の削減や購入業者の選択など、従来の業務の全面的見直しを行うことにより、1食あたり10円程度の給食費用の削減を図ることが出来た。食材価格は今後も上昇傾向にあり、さらに工夫・対処していく必要がある。

栄養課では最近以上のような取り組みを行い入院患者の栄養問題に積極的に関与している。